

言語とインテグレーション

インテグレーション

インテグレーションの機会

言語

ドイツ語学習

インテグレーション

外国人には、地域の法律を守り、経済的自立やドイツ語の習得など、社会に馴染むこと（インテグレーション）が求められています。

大切なこと

スイスに住んでいる人は、すべて、スイス連邦憲法を遵守し（男女平等など）、現行の法律に従わなければなりません。さらに、可能な限り、経済的に自立することが求められます。また、外国人はできるだけ早く居住エリアの言語の習得をする必要があります。インテグレーションは相互の協力があつてのみ成立するものですので、地元の住民にも外国人への理解が求められています。

市民としての責任

スイス連邦（bund）、州（カントン）、地方自治体（ゲマインデ）は外国人にもスイス人と同等の経済的、社会的、文化的生活を保障しています。また、外国人は、自己の責任において、できるだけスイスの文化に馴染む努力をし、このための機関や企画に参加することが求められています。

地域活動に参加する

スイスの社会に馴染み、人々とコミュニケーションをはかるには、クラブに加入したり、お祭りや行事に参加してみるとよいでしょう。人によって異文化に対する親しみの度合いが違いますので、最初は難しく感じるかもしれません。地域にとけ込むには少し忍耐や根気が必要になることもあります。

情報 ・ サポート

Basel-Landschaft州には、転入者が自由に利用できる情報窓口があります。まず、お住まいの自治体役場をおたずねください。外国人専用の窓口もあります [Ausländerdienst Baselland](#)。Ausländerdienst Basellandはスイスでの生活についての情報を提供し、様々な分野の具体的な質問に応じます [Anlaufstelle Baselland](#)。Anlaufstelle Basellandは庇護権や外国人の権利に関する質問にお答えします。まだドイツ語が不自由な場合は、通訳を頼むか同伴することができるほか、言語によっては独自の情報窓口があります。

詳細（リンク、連絡先、冊子、リーフレット）

www.hallo-baselland.ch/ja/language-and-integration/integration

インテグレーションの機会

社会に馴染むこと、インテグレーションは主に教育の場や職場で求められます。しかし、就学、就職をしていない場合でも、スイス社会に馴染むための機会はたくさんあります。

インテグレーション促進企画

外国人がスイス社会に馴染み、住民同士のコミュニケーションを促進するための集会、レクリエーション、講演、講習会など、多くの企画が催されています。詳細は **Ausländerdienst Baselland (ald)** またはお住まいの自治体役場にお問い合わせください。多くの自治体で新しく越してきた住民のための催しをおこなっており、これから住む土地の様子をつかむのにちょうどよいでしょう。

クラブ活動

Basel-Landschaft州には、さまざまな種類のクラブ **[Verein]** (**Verein**) があり、住民の多くがそのどれかに属しています。小さな自治体でもスポーツ系、文科系のクラブがあり、地元の人と知り合う絶好の機会です。自由に入会できるものがほとんどです。詳細は、お住まいの自治体のウェブサイトをご覧ください。

移民組織

言語、出身国、宗教などによって、移民コミュニティが独自のクラブを設立することもあります。この多くが、新しくスイスやBasel-Landschaft州に移住してきた仲間に、地域での生活情報を提供し、相談に応じています。

青少年向けの企画

Basel-Landschaft州には、同年代の青少年の交流をはかるための施設や催しがあります。多くの自治体には自由に利用できる集会所があり、様々なレクリエーション企画を催しています。これらには指導員がつき、青少年がアイデアを持ち込んだり、自分でイベントを企画することもできます **[Jugendarbeit]** (**Jugendarbeit**)。参加費は無料の場合がほとんどです。青少年グループ **[Jugendverbände]** (**Jugendverbände**) は、同年代の仲間と一緒に計画をたて、自然の中で体を動かすよい機会です。クラブ、自治体、教会などが運営しており、青少年なら誰でも参加できます。詳細はお住まいの自治体にお問い合わせください。

詳細（リンク、連絡先、冊子、リーフレット）

www.hallo-baselland.ch/ja/language-and-integration/integration-programmes

言語

Basel-Landschaftに引っ越したばかりで、まだドイツ語を話せませんか？
それならできるだけ早くドイツ語を学ばなければなりません。ドイツ語を話せば、国や人々についてもっとよく知ることができ、仕事も見つけやすくなります

標準ドイツ語 ・ スイスドイツ語

スイスにはドイツ語、フランス語、イタリア語、ロマンシュ語の4つの国語があります□Basel-Landschaft。Basel-Landschaft州の公用語はドイツ語で、これには標準ドイツ語とスイスドイツ語があります。

- 標準ドイツ語 (Standarddeutsch□)
ドイツ語圏スイスの住民は標準ドイツ語で記述します。また、学校の授業、そしてラジオとテレビでも一部標準ドイツ語を話します。
- スイスドイツ語 (Schweizerdeutsch□)
スイスドイツ語はドイツ語の方言です。日常ではほとんどスイスドイツ語が話されます。ドイツ語をきれいに話すことができても、スイスの方言になるとわかりにくいかもしれません。何か理解できないことがあれば、標準ドイツ語で話してくれるように頼んでもかまいません。スイスドイツ語を話す必要はありませんが、いずれスイスドイツ語も理解できるようになることは大切です。

子どもとドイツ語

皆さんの子どもはドイツ語を話しませんか？ それならできるだけ早く、ドイツ語を話す子どもと知り合いになるべきです。それがドイツ語習得の一番の近道だからです。例えばシュピールグルッペに行くのもよいでしょう。そのほか親子のための特別イベントも開催されています。

自分でも子どもの言語発達をサポートできます。子どもとたくさん話し、子どもの言うことによく耳を貸し、語り聞かせをしてください。そのときは自分にとって一番話しやすい言語で話してください。

翻訳 / 通訳

バーゼルに引っ越してきましたが、まだあまりドイツ語が話せませんか？ その場合、通訳が必要になることもあります。そんなときは家族や知人に頼んでもよいでしょう。

しかし、病院や役所のアポイントなど、込み入った内容やとてもプライベートな話もあります。その際には、異文化コミュニケーション通訳を雇う方がいいかもしれません。これはスイス以外の文化圏出身の人のための専門通訳で、皆さんの文化をよく知り、すべて理解できるように通訳できるスペシャリストが対応します。

役所から手紙が届いても内容が理解できませんか？ あるいは用紙に記入したり手紙を書いたりしなければなりませんか？ そんな時はこちらがサポートします。

- ald 通訳サービス
- Schreibstube Liestal SRK

外国人の権利と市民権に関する言語レベル

滞在許可証[B] (B) や定住許可証[C] (C) の申請をしようとしていますか？ それとも、帰化を申請したいですか？ そしてドイツ語は第一言語ではありませんか？ それなら、ドイツ語をしっかりと話せるという証明が必要です。

申請に必要なものに関する情報はここで得られます。

- 市民権局[Amt für Migration und Bürgerrecht] (Amt für Migration und Bürgerrecht)

詳細 (リンク、連絡先、冊子、リーフレット)

www.hallo-baselland.ch/ja/language-and-integration/language

ドイツ語学習

ドイツ語を正しく学ぶために、語学講習を受けることをお勧めします。バーゼル地方にはさまざまなニーズに応じたたくさんの語学コースがあります。

語学コース

バーゼル地方には、公立から民間会社、非営利団体が運営するものまで、幅広いニーズに応じたたくさんの語学コースがあります。ラテン語アルファベットを習ったことがない、または、読み書きに問題がある場合は、アルファベットコース[Alphabetisierungskurs] (Alphabetisierungskurs) から始めることができます。学校を決める前にコースのタイプや費用などの情報をできるだけ集めて比較してみることをお勧めします。子供を持つ両親向けに育児サービス付きの特別コースもあります。詳細はAusländerdienst Baselland (ald) またはお住まいの自治体役場にお問い合わせください。

語学レベル

ドイツ語がどれだけうまく話せるかは、ヨーロッパ言語共通参照枠 (略称GER) ではかることができます[GER]。GERは語学レベルの基準で、A1[A2][B1][B2][C1][C2]、A2[B1][B2][C1][C2]、B1[B2][C1][C2]、B2[C1][C2]、C1[C2]、C2の6レベルに分かれています[A1]。A1やA2はドイツ語の基礎力があるというレベルです[C1]。C1やC2に達するとかなり上達していることとなります。

- スイスで認定されている職業教育を始めたいですか？ それならB1かB2レベルが必要です。
- 大学で学ぶには[C1]、C1かC2が必要となります。

費用

基本的には語学コースの費用は自己負担です。学費はコースによって差がありますので、事前に(一授業あたりの値段など)比較してみることをお勧めします[Basel-Landschaft]。Basel-Landschaft州および自治体から補助金が出ている学校では受講者の負担額が低く設定されています。

詳細 (リンク、連絡先、冊子、リーフレット)

www.hallo-baselland.ch/ja/language-and-integration/learning-german